

このアンケート調査は、市民に役立つ広報紙をめざすために、行つたもので、二月一日号から連続で掲載しています。

每号保存が20%

必要なものだけ48%

問9 あなたのご家庭では「広報なんこく」を――

① 毎号として保存している

②必要なものだけ保存している

③読むと捨てる	29・1
④無回答	3・2

A・毎号として保存している人

○一孝で五人に一人に毎

異として保存していることになる。これに必要なものだけ保存している人を加えると六七・七割で、約七割の人が保存していることになる。かなり大切に取扱い扱われており、編集者としてはうれしい。

B・十年前、二十年前には市内
でこんなことがあったのか……な
どと、昔の広報をめぐってみると
なつかしい記事や、忘れていた出
来事が思い出されて参考になるこ
とがある。

C・掲載されている写真を見ると、ずいぶん市内も変わっているし、時代の移り変わりがわかる。

D・広報紙はB5版だから保存しやすいし、もっともっと多くの人が保存してくれるような内容の紙面づくりに頑張らなくては。

読みやすい	30%
普通	63%

問10 「広報なんこく」の記事の内容は――。

問11 「広報なんこく」の文章は

①むずかしい	1・6
②普通	80・5
③やさしい	14・1
④無回答	3・8

①読みやすい 29・9
②普通 62・7

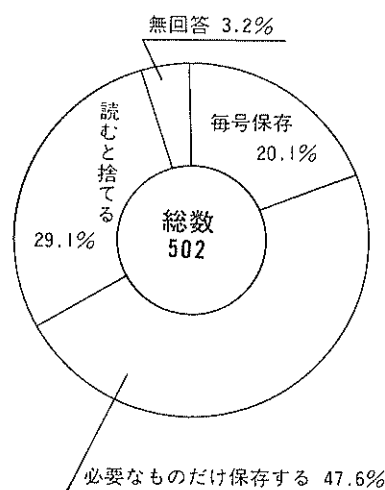
③読みにくい 1・2

④無回答 6・2

A・記事内容は、「普通」「やさしい」と答えた人が九四・五割を占め、文章についても九二・六割が抵抗なく読め、「読みやすい広報」の目的を達しているようだと、

B・編集者としては最低限、あて字、誤字は避けなければならぬし、疑わしい字はすぐに辞書をひくことだ。印刷された活字は後世に残るから…。

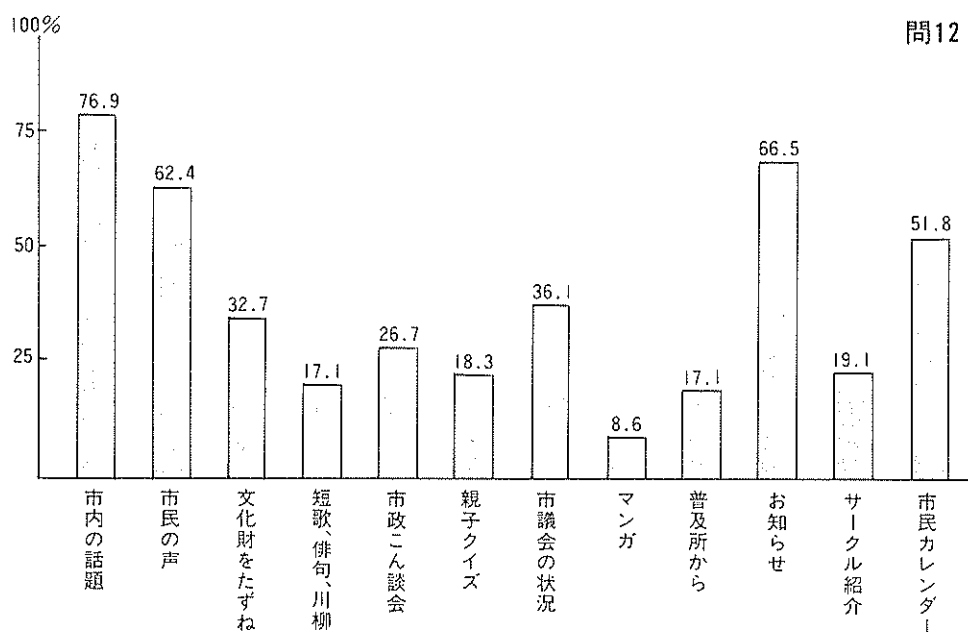
C・「見やすい紙面づくり」にと、最近新聞などで活字が大きくなっているが、広報でも考えてみるべきだ。



人気記事は話題や市民の声

市民登場が「読まれる広報」に

議会や行政施策にも関心



問12 あなたの家庭では、「広報なんこく」のどの記事をよく読みますか。五つ選んでください。
(図参考)

問13 「広報なんこく」の記事は、

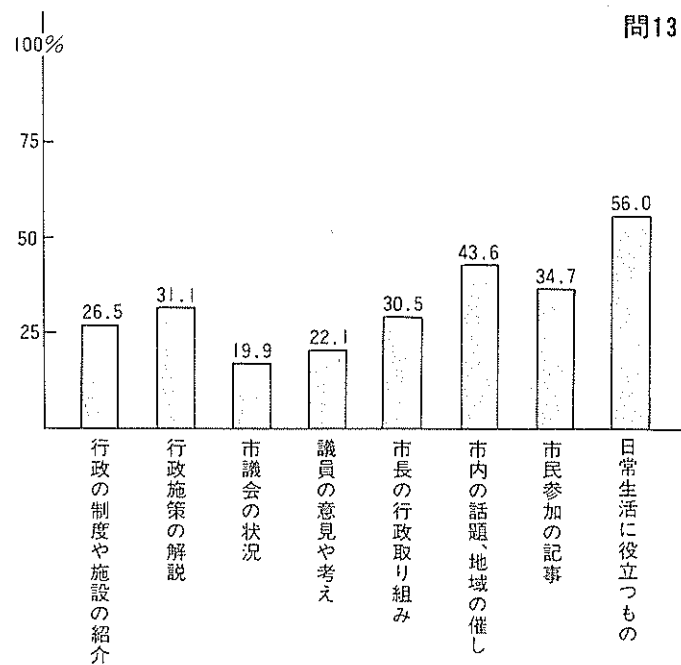
これから――。該当するものを三つ選んでください。(図参考)

A・一番読まれているのが「市内の話題」で、身近な出来事の記事が親しみやすいようだ。同じように、「市民の声」の読者も多く、やはり市民が紙面に登場することが、「読まれる広報」につながっている。

Ｂ・「お知らせ」「市民カレンダー」は、福祉、保健事業など、日常生活に密着したものであり高い率を示している。また、「市議会の状況」「市政ごん談会」も良く読まれており、市民の行政に対する関心の高きもうかがえる。

C・予想を上まわったのが、「文
 化財をたずねて」で、市内には由
 緒ある神社、仏閣、貴重な遺跡な
 ど豊富であり、深い関心を持つて
 いるようだ。

D・一 希望まれているのは「生活の知恵など、日常生活に役立つもの」となったが、これは回答したかたが主婦が多かった結果だろう。今の広報では「普及所から」だけで、あまり生活に役立つ記事はない。他の本からの転載となると著作権の問題もあるが、希望も



多いことだし今後検討したい。

Ｅ・望まれる内容を全体的にみると、八つの区分にあまり大きなばらつきがなく、いろいろな記事が盛り込まれるとともに、内容の充実した広報が、最も望まれているようだ。

F・内容が「話題」や「生活の知恵」ばかりでは、市民も行政から「そっぽ」を向かれたことになる。「行政広報」のもつ道からあまり外れないよう、議会や行政施

策をきちんと取材し、行政の動きを市民に分ってもらわなくては……」

広報の表紙に書いてあるとおり「あなたと市政をむすぶ……」

広報なんこくなんだから……。